

2022年(R4年)



No. 363

ひとはろうしん

(字:水田淳世)



社会福祉法人 ひとは福社会
〒739-1203
広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムアド) http://hitoha-fukushi.com (メルアド) honbu@hitoha-fukushi.com

新しく入ったひとはの仲間たち - スタッフ -

過日、活動前に河野大輔さんがぶらりと来てくれました。にこやかな表情です。そして「寺尾さん、本を読んでみてよ。わしは面白いけん、何べんも読み返したんよ。車いすの後ろのポケットに入ってるけんってみて」と勧めてくれました。さ、そく取り出してみると『ぼくモグラキツネ馬』という書名のファンタジック(?)な童話です。ページをペラペラとめくってみると、なるほど「へえ、こりゃ面白そうなのう。貸してもらってええかい?」と言うと「うん、そう思うて持ってきたんよ」とにこやかに返答が。素敵な装丁と挿絵です。物語は、道中4人の会話によって進められます。私がここに留めておきたい言葉が随所に出てきます。



例えば

“おおきくなったら、なにになりたい?” “せさしくなりたい”

“成功するって、どういうことかなあ?” “そりゃあ、だれかを好きになることだよ”

“いちばんの時間のむだって、なんだとおもう?” “じぶんとだれかをくらべることだね”

“いちばん強かったのはいつ?” “弱さをみせることができたとき”

“人生はむずかしい。でもきみはたしかに愛されているよ”

本当に素敵な言葉の数々ですので、皆さんにおすす分けです。

この本に共鳴した河野さんもさすが。そして私に勧めてくれたことにも感謝。おかげで

私は皆さんにおすす分け。

法人事務局のスタッフにも回し読みをしてもらいました。できれば、手に取って読んでみてください。

理事長 寺尾 文尚

なまえ 内窪 美由紀
しよく 所属 共同ホームひとは
う 生まれ変わるなら何?
にんげん じせいの 人間の女性。
にんげんどうし 人間の 人間同士の触れ合いが
なに 何より好きです。

なまえ 生中 夏帆
しよく 所属 ひとはぼっこ
う 生まれ変わるなら何?
ねこ 猫になって、日向ぼっこを
したりのんびりとした
せいかつ 生活をしてみたいです。

なまえ 田丁 章恵
しよく 所属 就労センターあぶら
う 生まれ変わるなら何?
くも 雲になって
せかい 世界旅行!!



なまえ 河野 敦子
しよく 所属 くらむぼん
う 生まれ変わるなら何?
ほくかいどう 北海道で、馬や牛を
そだ 育てたいな。
ぼくじやう 牧場主。



(絵:生中夏帆)



なまえ 中井 美咲
しよく 所属 くらむぼん
う 生まれ変わるなら何?
うちうじん 宇宙人になって、
ともだち 友達になりたい。

なまえ 織田 政子
しよく 所属 くらむぼん
う 生まれ変わるなら何?
はつこうしん 八頭身に生まれ変わ
れたらいいな。
じんせい (人生変わる?笑)

なまえ 久保 圭子
しよく 所属 くらむぼん
う 生まれ変わるなら何?
う 生まれ変わっても
にんげん 人間になりたい。



「魔法の言葉」

ひ

私は高森さんの笑顔にいつも癒されています。

ささき亭で働き始めた時は、まだどこか距離があり、なかなかお話しができませんでした。それが、毎日一緒に仕事をしていると、空気が沈んでいる時や、がシャーンとものが落ちた時などに率先して「今日も元気だよ！やればできる。」と私を笑顔にする魔法の言葉を言われ、今日も頑張るぞ！と思えるようになりまし。いつも笑顔をありがとう。

(ひとは工房 西原伊吹)

「美意識」

は

水附緑さんは、年齢にしては肌ツヤ良く、若く見えます。年齢の話をするといや～言わないで～と怒られます。コロナ療養期間、朝昼夜しっかりごはんやおやつを食べていた緑さん。身体を動かすことが少なかったはずが「ごはんが足りない。もう少しおやつを食べたい」と驚きの食欲でした。そんな生活を約3週間続けたことで、気になるのが体重。いざ測る際「どう？」と聞かれ、私は正直に「〇kg増えています」と伝えると「いや～どうしよう」と。

健康ばかりでなく、美も意識できる素敵な女性だなと感じました。

(共同ホーム 笹川琴未)

「1年前からの約束」

マ

常に味噌のことを考えている新谷さん。そんな新谷さんと去年の春、交わした約束があります。それは、連続20日シーラー作業(中ぶたを圧着する作業)をミスなくできたら、ひとは館へアイスを食べに行こうという約束です。数か月経ち、冬になる頃、達成日を記入するカレンダーを前に「寒い時期月にひとは館じゃ～！」と言われていましたが、いつの間にか夏がやってきました。

新谷さん、一緒にひとは館へ行ける日を楽しみにしていますよ～！！

(就労センターあぶ 林ひとみ)

語り継ぎたいこと

おーい 聴こえますか 改訂版

人間って、何が幸いするかわからないなあと思うことがあります。望月さんは六〇才近くになって仲間に加わりました。聞くところによると、これまでにいろんな遍歴を重ねているようですが、いつも「自分はダメだ。」という悲しみを背負っていったと言います。ひとには来てまだ間もない頃、視力に障害のある沙登志さんを便所まで案内してもらいました。帰ってきた望月さんの顔を見ると、目を大きく開けて「どうしてかわからない」というような驚きの顔をしていました。「どうしたの？」と尋ねると、「沙登志くんが、私にありがとう言うたんよ。」と言います。私たちがから見れば、「ありがとう」と言われることくらい当たり前だと思っただけで、自分にありがとうと言ってくれる人がいたということが驚きであり、もしかしたら、自分が人の役に立ったのかもしれないという喜びが入り交じった感情をどう表してよいか迷っているようでした。しかし、彼女にとって本当にうれしかったらしく、便所から出てきた沙登志さんを前に「あんたがおつてくれてよかったのう。」と語りかけていました。「ありがとう」という言葉が、実はこんなに重みのある言葉であることを初めて知りました。まさに、支えたり支えられたりの架け橋なのです。

あつたあつたあつた

あつたあつたあつた

編

集

後

記

くらむぼんの土曜活動日に、子どもたちと山登りをした。郡山には緑が茂り、絶好の登山日和。

ふと立ち止まった時、マスクの隙間から清々しい香りが。マスクを外して深呼吸すると、自然の空気が体中にしみわたる。暑さも忘れて晴れ晴れとした気持ちになった。(白井くみこ)